
ときに置いてきたもの。

宇藤さり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ときに置いてきたもの。

【Nコード】

N09780

【作者名】

宇藤さり

【あらすじ】

本当にあった、思春期を感じる物語

某学校に転入した主人公は、さまざまな思いを経験します。実際にあった物語。みなさんは読みますか？

恋愛小説（前書き）

本当にあつた物語です。

共感していただけたらうれしいです。

恋愛小説

「わたしはやっぱりあなたが好き。」

ここまでたどり着くのにはかなり時間がかかった・・・

第一章・運命は決まっていた

あの日空は晴れていた。

不安で不安で、、、
転入なんて初めてだから・・・

5月末

「転校するからね」

軽々と母親に口にされたコトバ。

その日からワタシはヒトがいないところで泣いた。
泣いた。泣いた。泣いた。。。

あつというまに転校したワタシ、、、今は体育館の壁に座ってるワ
タシ、、、物事はなんでもあつというま。。。

みんなのマーチングの練習が終わった後、自己紹介をした。かなり
適当な自己紹介を、明るい声で言ってみた。いきなりのマイナス印
象はゴメン。

自己紹介が終わった後、ワタシと同じクラスの子。といっても8人

が招集された。丸くなった。。。みんなの最初の印象は、、

「ガラ悪っっ!!!!!!!!!!!!!!」

そういう恐怖におびえていた。。。

教室に行く途中、女子のみんなが話しかけてきてくれた。敬語で対応するワタシ。でも、みんなと話せたのは、殆どそのときだけだったかもしれない。

ワタシは、一人の男の子が気になっていた。

しっかりした顔立ち

がっちりした健康体な体つき

簡単にまとめればそう

かっこよかった

今までにみたことがないくらい。

ジャニーズとかにいてもおかしくないくらい。

というか、ジャニーズみたいにチャラチャラしてるわけでもなく、清楚そうな顔。

クラスに入ると、クラスの面白い男子がハゲとかカツラとかいって替え歌をつくっていた。ツツコム周りの人々。とにかく、すごく面白い。

ワタシは、こんななかに入って良いのかナアと思った。

第2章・悲劇のターニングポイント

「暗いね」

クラスの面白い男子（というのはメンドクサイので、「星^{セイ}」と呼ぶことにしよう。）に言われたことだった。最初の3週間とか4週間ぐらい、人見知りのワタシはクラスになじめないでいた。でも、そのコトバがワタシを一変させた。

帰り道、なきじゃくった。

家に帰って、反省した。

逆ギレして、意識をプラスにもっていった

「なんだと！？じゃあ明るくなってやるよばかやるー！ー！」

そして次の日から除々に喋るようになっていった

（まあその後喋りすぎと注意されるようになっていったのだが笑）

女子とは完全につるむ様になったが、男子は「星」と「遥春^{ハル}」としかつるんでいなかった。あと2里の男子とは、少し距離があった。そのうちそのうちの1人、章介^{ショウスケ}とは普通につるむようになったのだが。。。問題はそう、最初に気になった男子だ。

彼の名前は有志^{ユウジン}。

クラスでも他の学年からも人気な男子。

縮まらない距離に、悲しさを覚えていた。

恋愛小説（後書き）

今後も連載していきますね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0978o/>

ときに置いてきたもの。

2010年10月15日04時28分発行